

もうすぐ国体!!

“がんばら〜で 国体”



平成18年開催「のじぎく兵庫国体」

市民総参加で盛り上げる、手づくりの大会
みんなでぞてなし、
一緒に国体を感じよう

日高

オリンピック選手
多数集結!

世界トップレベルの
スピード・テクニッ
クは必見!

2004年に開催されたアテネオリンピックでは、日本代表の女子ソフトボールチームが、世界の強豪チームを相手に堂々の銅メダルに輝きました。
その後の世界大会でも、金メダリストのアメリカ代表チームを下して優勝するなど、世界一を争う強豪に成長しています。
10月1日から4日まで開催する、のじぎく兵庫国体ソフト



ハイレベルな熱戦が繰り広げられたリハーサル大会

トボール競技(成年女子)では、世界大会で活躍した選手たちが全国各都道府県の代表として多数出場し、但馬ドームと植村直己記念スポーツ公園で熱戦を繰り広げます。
独特の投球モーションから繰り出される剛速球や変化球、元氣あふれるファインプレーの数々。見どころの多い大会

を、ぜひご観戦ください。

ご協力を
お願いします!

リハーサル大会として開催された、全日本総合女子ソフトボール選手権大会でも、多くの市民の方々にスタッフとして協力していただきました。
本大会でも、陰から支えるスタッフとして、選手たちを応援していただきますようお願いいたします。

国体開催

2009年イベント

ソフトボールフォーラムに

お越しください

ソフトボールの技術向上と普及促進を目的に開催します。
元オリンピック全日本女子ソフトボールチーム監督の宇津木妙子さんによる講演や、実技指導を行います。

日時 3月11日(土)

午前10時〜午後4時

会場 日高文化体育館・但馬ドーム

申込期限 2月28日(火)

ソフトボールについての

問合せ 日高総合支所国

体推進課 ☎42・1117

憧れの選手を間近で観て

日高高校 ソフトボール部
信部有香さん



平成17年9月に開催された国体のリハーサル大会では、グラウンド整備スタッフとして参加しました。
憧れの上野由岐子投手の

ファイナダー越しに光る汗

全日本写真連盟 日高支部長
水田 巖さん



目標に向かって一生懸命に頑張っている人の顔というのは、何物にも代えがたい輝きを発しています。私たちはカメラのファイナダーを通して、頑張る人たちの汗と笑顔を追いかけてながら、記録写真を撮影するボランティアとして国体に参加します。

ピッチングを間近で見れて感激しました。試合運びの巧さや無駄のないプレーは予想をはるかに上回るもので、その素晴らしさに釘付けになってしまいました。
のじぎく兵庫国体ソフトボール競技でも、スタッフとして全国から集まる選手の皆さんを支えます。本音は、私も選手として国体に参加したいですが…。

この経験を、私たちの日々の練習に活かしていきたいと思えます。

リハーサル大会では、会員を総動員して準備風景から決勝戦まで全31試合の記録写真を撮影しました。撮影枚数の多さに、現像後の整理作業は大変苦労しましたが、写真の中の選手の顔は、さすがに頂点を目指すスポーツ選手であり、どれも真剣さに溢れていました。

国体では、市民ボランティアスタッフの活躍する姿にもカメラを向けたいと考えています。地域で開催される神鍋高原マラソンや身障者野球大会などでの経験も活かして、国体でも、ファイナダー越しに光る汗を追い求めます。

出石

城下町出石には
武道がよく似合う

出石は、古くから城下町として栄え、武道が盛んに行われてきました。

昭和47年に、出石中学校柔道部が近畿大会で準優勝、また、平成17年には出石高校空手道部が近畿大会で優勝しています。

現在でも、剣道・柔道・少林寺拳法と非常に武道が盛んに行われ、豊岡市では、500人を超す市民の皆さんが空手道に励んでいます。

選手・監督は民泊で

空手道競技開催が出石で決定した時から、心に残る国体を目指して地元では、「選手・監督は民泊で」を合言葉に推進してきました。

国体における民泊とは、一般民家等を宿舍として利用し、食事や入浴等の宿泊業務を一般民家や民泊協力会組織に

10月1日から3日までの3日間開催する兵庫国体空手道競技では、500人を超す選

手・監督等が参加し、大勢の人々が出石を訪れます。

大会期間中は、選手・監督と市民のふれあいを大切に、より感動の深い国体を目指します。

全国に一人でも多くの「豊岡ファン」をつくるため、各地区で「国体協力会」を立ち上げて、受入れの準備を進めています。



調理講習会で講習を受ける協力会の皆さん

国体開催で地域の活性化を

各地域では、「地区住民が協力し助け合う昔の良さがなくなつた」という声を耳にします。

各協力会の活動を中心とした、「花作り」や「歓迎のぼり」の作成、開催期間中の選手・監督の受け入れ体制など

国体協力会からの一言

台風23号のお礼を



国体協力会連絡協議会会長
出石町青田 中西郁夫さん

民泊は、町の特徴を活かすチャンスになると思います。但馬の小京都といわれる出石がもつ『もてなしの心』を發揮できればと考えています。台風23号災害で民泊は無理かもと危惧しましたが、特に大きな被害を受けた地区から「災害時に多くのボランティア

アにお世話になったのだから、恩を返すため、民泊は予定通り引き受けます」との決定をもらい胸が熱くなりました。民泊での受け入れを絶対成功させ、豊岡のファンを一人でも多く増やしたいと思っています。

地元食材でおもてなし



口小野協力会会長
出石町口小野 中村富蔵さん

「地方行政は、市と住民が一体とならなければならぬ」と思い国体の民泊に一番に手を上げ、引き受けました。民泊に対しての大きな問題はないですが、選手・監督に提供する食事には気を使います。

献立の中に地区特産の小野芋を加え『試合でも粘りが出る』ように、また、時期が合えば「まつたけ」でもと思います。引き受けたからには、必ず成功させます。

を通じて、地区住民が一丸となって取り組むことで、地区組織の連携が高まり、昔の良さを取り戻すきっかけになればと考えています。



空手道競技についての問合せ
出石総合支所国体推進課
☎53・2466

ボート初漕ぎが行われる

1月5日、兵庫国体ボート競技会場となる円山川城崎漕艇場で、「初漕ぎ」が開催されました。

この初漕ぎは国体開催を機に、新春の新たな風物詩にしようと、円山川城崎ボート協会の主催により行われたイベントです。

当日は雪の舞うなか、「はばタン」も応援に駆けつけ、



地元選手たちが近づく国体へ向け、気持ちを新たに

地元選手やボート関係者ら約50人が集い、国体成功と競技人口の拡大を願って、地元選手たちが円山川へと力強く漕ぎ出しました。